

「八幡椎津線（平田）軌道横断工事の一般競争入札の実施について」

令和4年2月10日

小湊鐵道株式会社  
取締役社長 石川 晋平

**1. 一般競争入札に付する事項**

- |             |   |
|-------------|---|
| (1) 件名      | 八幡椎津線（平田）軌道横断工事                                       |
| (2) 場所      | 千葉県市原市平田地内  |
| (3) 工事期限    | 令和6年10月31日  |
| (4) 建設工事の種類 | 土木一式工事  |
| (5) 工事の概要   | 函体推進工（PCR工法）一式（L=16.0m、W=25.2m）<br>土工工事 一式<br>仮設工事 一式 |

(6) 入札の方法

本入札は、紙入札方式により執行する。また、当該工事に関する価格以外の評価を行うための資料（以下「技術提案等資料」という。）を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式による入札である。

(7) 本工事の契約に関する注意事項

- ①本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）対象工事とする
- ②本工事の契約不適合責任期間は10年とする。

**2. 入札に参加する者に必要な資格に関する事項**

本工事の入札に参加する者に必要な資格は、次のとおりである。

- (1)令和2・3年度市原市入札参加資格者名簿（建設工事部門）に登載されている者のうち、土木一式工事の登録がある者
- (2)市原市の令和2・3年度入札参加資格審査における、土木一式工事の等級格付がAランクの者
- (3)土木一式工事の監理技術者（直接かつ恒常的に雇用している者）を専任で配置できる者。  
ただし、土木一式工事の監理技術者補佐を専任で配置できる場合は、当該監理技術者の専任を要しないものとする。
- (4)特定建設業の許可（土木工事業）を受けている者
- (5)本入札の契約の締結日前1年7か月以内の審査基準日による経営事項審査を受けている者
- (6)平成18年度以降に完成・引渡し完了した、「鉄道軌道敷直下における構造物新設工事（けん引・推進工法等）」、「道路敷直下における構造物新設工事（けん引・推進工法等）」もしくは「道路における箱型函渠工事（内空幅1.2m以上）」を元請として施工した実績を有している者。

- (7)千葉県建設工事請負業者等指名停止措置要領および市原市建設工事請負業者等指名停止措置要領に基づく指名停止措置を、本工事の公告の日から落札日までの間に受けていない者
- (8)公共機関において、契約からの暴力団排除に関する措置要綱に基づく排除措置を、本工事の公告の日から落札日までの間に受けていない者
- (9)地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当しない者
- (10)本工事の公告の日から起算して、前 2 年以内に手形交換所による取引停止処分を受けた者又は前 6 か月以内に手形若しくは小切手の不渡り事故を出した者でないこと。
- (11)会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）の適用を申請した者にあつては、本工事の公告の日までに同法に基づく裁判所からの更生手続開始決定がされている者
- (12)民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）の適用を申請した者にあつては、本工事の公告の日までに同法に基づく裁判所からの再生手続開始決定がされている者

### **3. 総合評価方式に係る落札者決定基準**

#### 1) 総合評価に関する基準

本工事の総合評価に関する評価項目、評価基準及び得点配分は、次のとおりとする。

#### (1) 評価項目（企業の技術力を評価する）

##### ① 施工計画

- A. 工程管理に係る技術的所見
- B. 施工時の安全対策に対する技術的所見
- C. 施工上の課題に対応する技術的所見

「本工事は供用中の軌道直下を超低土被りで近接する推進工事であり、施工中の安全・計測管理等が非常に重要と位置付けられる。又、日毎施工において作業終了～供用開始と制約の多い条件下での施工であることに配慮し、安全を最優先としながら、現地の条件（地形、地質、環境、地域特性）に配慮した効率的かつ供用線への影響を回避した施工を行うための技術的所見を求める」

- D. 完成物のコンクリートの品質確認・管理方法に係る技術的所見

##### ② 地域精通度

- ・平成 18 年度以降に完成・引渡し完了した、小湊鐵道株式会社との契約における災害発生時の緊急工事対応及び一般土木工事の施工実績を有する企業に対し、優位に評価する。

##### ③ 企業の施工実績

同種、類似、その他の工事の施工実績

- ・同種工事： 鉄道軌道敷直下における構造物新設工事（けん引・推進工法等）を元請（JV の場合は代表者もしくは構成員（出資比率 20% 以上の者に限る））で施工した実績を有するもの。
- ・類似工事： 道路敷直下における構造物新設工事（けん引・推進工法等）を元請（JV の場合は代表者もしくは構成員（出資比率 20% 以上の者に限る））で施工した実績を有するもの。
- ・その他：道路における箱型函渠工事（内空幅 1.2 m 以上）の実績を有するもの。

④ 配置予定技術者の能力

資格、同種（類似）工事の施工経験、継続教育（CPD）の状況等

(2) 評価項目（企業の技術力及び予定配置技術者の能力等を評価する）

① 施工計画について（加算点）

表1 施工計画評価点

| 評価の視点  | 評価基準   | 点数   | 配点    |
|--|--|------|-------|
| 工程管理に係る技術的所見   | 各工程の工期が適切であり、工程管理に工夫が見られ、工期に余裕がある。                         | 10.0 | /10.0 |
|  | 各工程の工期が適切であり、工程管理に工夫が見られる。                                 | 5.0  |       |
|  | 各工程の工期が適切だが、一般的事項の記載である。                                   | 0.0  |       |
|  | 各工程の工期が不適切である。   | 不適切  |       |
| 施工時の安全対策に対する技術的所見                                    | 施工時の安全対策が現場条件を踏まえて適切であり、特別な工夫が見られる。                        | 10.0 | /10.0 |
|  | 施工時の安全対策が現場条件を踏まえて適切であり、工夫が見られる。                           | 5.0  |       |
|  | 施工時の安全対策が現場条件を踏まえて適切だが、一般的事項の記載である。                        | 0.0  |       |
|  | 施工時の安全対策が現場条件を踏まえておらず、不適切である。                              | 不適切  |       |
| 指定した施工上の課題への対応の的確性<br>・与条件との整合性<br>・理解度<br>・対応方針の裏付け | 施工上の課題への対応が現地の条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて的確に図られ、優れた工夫が見られる。    | 10.0 | /10.0 |
|  | 施工上の課題への対応が現地の条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて的確に図られ、工夫が見られる。       | 5.0  |       |
|  | 施工上の課題への対応が現地の条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえておりの確だが、一般的事項の記載である。   | 0.0  |       |
|  | 施工上の課題への対応が現地の条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえておらず、不適切である。           | 不適切  |       |
| 完成物コンクリートの品質確認方法、管理方法の適切性                            | 品質の確認方法、管理方法が現地の条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて適切であり、優れた工夫が見られる。   | 10.0 | /10.0 |
|  | 品質の確認方法、管理方法が現地の条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて適切であり、工夫が見られる。      | 5.0  |       |
|  | 品質の確認方法、管理方法が現地の条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえており適切だが、一般的事項の記載である。 | 0.0  |       |
|  | 品質の確認方法、管理方法が現地の条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえておらず、不適切である。         | 不適切  |       |

注1) 評価項目のうち、1項目でも「不適切」に該当した場合は、当該入札を無効とする。

注2) 施工計画の評価に当たっては、他機関又は他工事との調整が必要となる施工計画の提案は評価しない。

②企業の地域精通度について（加算点）

表 2 企業の地域精通度評価点

| 評価の視点 | 評価基準  | 点数   | 配点    |
|-------|---|------|-------|
| 地域精通度 | 平成18年度以降に完成・引渡しが完了した小湊鐵道株式会社が発注（契約）した災害発生時の緊急工事の施工実績を有する。 | 10.0 | /10.0 |
|       | 平成18年度以降に完成・引渡しが完了した小湊鐵道株式会社が発注する一般土木工事の施工実績を有する。         | 5.0  |       |
|       | 平成18年度以降に完成・引渡しが完了した小湊鐵道株式会社が発注する工事の施工実績を有しない。            | 0.0  |       |

③企業の施工実績について（加算点）

表 3 企業の施工実績評価点

| 評価の視点                 | 評価基準                             | 点数   | 配点    |
|-----------------------|----------------------------------|------|-------|
| 過去15年間の同種（類似）工事等の施工実績 | 同種工事の実績あり。                       | 10.0 | /10.0 |
|                       | 類似工事の実績あり。                       | 5.0  |       |
|                       | その他、道路における箱型函渠工事（内空幅12m以上）の実績あり。 | 3.0  |       |
|                       | 上記のいずれも実績がない。                    | 0.0  |       |

④配置予定技術者の能力について（加算点）

表 4 配置予定技術者評価点

| 評価の視点   | 評価基準   | 点数   | 配点    |
|---|--|------|-------|
| 監理技術者の保有する資格 <sup>注1)</sup>                   | 1級土木施工管理技士（5年以上）<br>技術士（総合技術監理部門：建設科目）<br>技術士（建設部門）        | 5.0  | /5.0  |
|   | 上記の資格を有しない。  | 0.0  |       |
| 過去15年間の同種（類似）工事の施工実績                          | 同種工事の実績を有する。<br>（監理技術者・現場代理人等、コリンズ登録技術者）                   | 10.0 | /10.0 |
|   | 類似工事の実績を有する。<br>（監理技術者・現場代理人等、コリンズ登録技術者）                   | 5.0  |       |
|   | 道路における箱型函渠工事（内空幅12m以上）の実績を有する。<br>（監理技術者・現場代理人等、コリンズ登録技術者） | 3.0  |       |
|   | 上記のいずれも実績を有しない。  | 0.0  |       |
| 継続教育（CPD）単位取得状況（技術資料提出期限日から過去1年間に発行された単位取得状況） | 推奨単位50Point以上を保有している。                                      | 5.0  | /5.0  |
|   | 推奨単位25Point以上を保有している。                                      | 3.0  |       |
|   | 推奨単位25Point未満を保有している又は推奨単位を保有していない。                        | 0.0  |       |

注1) 公告日時点における資格取得年数により評価対象とする。

2) 総合評価の方法

価格及び技術資料に係る総合評価は、予定価格の制限の範囲内の入札参加者について、

3) の算出方法により得られた値をもつて行う。

### 3) 評価値の算出方法

以下の(1)(2)により得られる基礎点と加算点の合計を、当該入札者の入札価格で除して得た数値を評価値とする。

#### (1) 基礎点

入札参加資格を満たす入札参加者全員に標準点(基礎点)として100点を与える。

#### (2) 加算点

入札参加者から提出された技術提案等資料にもとづき、「3. 総合評価方式に係る落札者決定基準 (2) 評価項目における前出表1~4」の評価項目毎に評価を行い、得られた評価点の合計値が最も高い者に50点の加算点を与える。その他の者は評価点の合計値に応じ按分して求められる点数(小数点以下第4位切り捨て)を加算点として与える。

加算点の算定方法は次のとおり。

$$\text{加算点} = \text{評価点 (50点)} \times \frac{\text{貴社の合計得点 (表1~4の合計)}}{\text{設定総得点 (満点: 80点)}}$$

※評価点：総合評価方式の種別ごとに定められた点数(50点)

### 4) 技術提案等が履行できなかった場合等の措置

- ①落札者が提示した技術提案等を履行できなかったときは、工事目的物の瑕疵の補修、契約金額の減額又は損害賠償の請求等を行うことができる。
- ②落札者が偽り、その他不正の手段により落札者となったときは、契約の解除等の措置を行うことができる。
- ③自然災害等の不可抗力の場合を除き、技術提案等の内容によることが困難で工事費が増額する場合にあっては、設計変更等は原則行わないものとする。

## 4. 入札参加申請

本工事の入札参加を希望する者は、次のとおり入札参加のための申請を行わなければならない。

- (1) 申請期間 令和4年 2月10日(木) 午後1時00分から  
令和4年 2月16日(水) 午後4時00分まで
- (2) 申請方法 小湊鐵道株式会社本社総務部(契約担当)まで持参すること
- (3) 提出書類 下記の各書類について各1部提出すること。
  - ① 競争参加資格確認申請書…様式1
  - ② 同一工種同種(類似) 工事施工実績及び監理技術者等の資格・工事経験…様式2、3
  - ③ 建設業許可通知書の写し
  - ④ 最新の経営規模等評価結果通知書及び総合評定値通知書(経審)の写し

- ⑤ 配置予定監理技術者の国家資格又は監理技術者資格者証の写し
- ⑥ 入札公告の参加資格要件に該当する工事实績に係る書類（a～dの該当項目全て）
  - a. 工事实績を確認できる契約書の写し（発注者、案件名、契約金額等を記載の頁（変更契約を締結している場合は変更契約書の写しも必要））
  - b. 工事内容が確認できる書類（コリンズの工事カルテ又は設計書等）
  - c. 工事完了が確認できる書類（竣工登録をしたコリンズの工事カルテ又は工事完成認定書等）
  - d. 小湊鐵道株式会社発注（契約）内容が確認できる書類（コリンズの工事カルテ又は契約書・設計書等）

(4) 入札参加資格の確認結果通知

令和4年2月21日（月）午後4時00分までに、ファクシミリにて通知する。

(5) 入札参加資格がない場合の措置

入札参加資格がないと認められた者は、その理由について説明を求めることができる。説明を求める場合は、入札参加資格がないと通知を受けた日の翌日から起算して5日以内（土・日・祝日を除く）に、小湊鐵道株式会社本社総務部（契約担当）窓口へ書面を持参して行わなければならない。回答は、説明を求められた日の翌日から起算して5日以内（土・日・祝日を除く）に書面で行う。

## 5. 設計図書等を示す場所及び日時

(1) 設計図書等を示す場所

小湊鐵道株式会社本社総務部にて設計図書等を貸与する。（CD又はDVD）

希望者は予め小湊鐵道株式会社総務部（契約担当）まで、電話又はファクシミリにて申し込むものとする。

(2) 配布期間

令和4年2月10日（木）午後1時00分から令和4年2月18日（火）午後4時00分まで（土曜、日曜、祝祭日を除く）

## 6. 技術提案等資料の提出

入札参加者は、次のとおり技術提案等資料（「3. 総合評価方式に係る落札者決定基準、(2) 評価項目」に掲げる各評価項目詳細の内容に対する資料）を提出しなければならない。

(1) 提出する書類

- ① 競争参加資格確認申請書 … 様式1
- ② 技術提案等（施工計画）資料 … 様式4-1～4-4

## (2) 提出方法等

- ① 提出方法 小湊鐵道株式会社総務部（契約担当）窓口へ持参すること
- ② 期 間 令和4年2月22日（火）午前9時00分から令和4年3月4日（金）  
午後0時00分まで
- ③ 場 所 小湊鐵道株式会社総務部（契約担当）
- ④ 提出部数 1部

## 7. 入札・開札日時及び入札方法

- (1) 入札執行 令和4年 3月4日（金）午後2時00分から  
※入札後に開札を行う。また、入札は2回までとする。

- (2) 入札の場所 小湊鐵道株式会社 会議室

### (3) 入札書の提出方法・入札金額

入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積った契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載し提出すること。

また、添付資料として入札金額内訳書（A4×3枚以内）を添付すること。

入札金額内訳書は、当該入札の件名、場所及び入札者の商号又は名称を記入し作成すること。入札金額内訳書の書式は、任意の書式でもかまわない。

## 8. 入札保証金 免除

## 9. 開札立会人

開札は公開で行うものとするが、開札に重大な支障を及ぼす恐れがある場合その他公開しないことが必要と認められる場合には、非公開で行う。

## 10. 入札の無効

本公告に示した入札参加者に必要な資格のない者及び虚偽の申請を行った者のした入札は並びに下記入札条件に関する条件に違反した入札は無効とする。なお、市原市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱に基づく排除措置を受けた者の行った入札も無効とする。

- (1) 1人で一度に2通以上の入札書を提出した場合はその全部の入札
- (2) 入札書の金額が訂正されているもの
- (3) 入札書の金額、氏名（法人にあっては商号名称及び代表者名）等の確認しがたいもの、  
押印のないもの、鉛筆書きのもの、その他主要な事項が識別しがたいもの
- (4) 入札について、不正の行為をした者の入札
- (5) その他入札に関する諸条件に違反している入札

### **1 1. 落札者の決定方法**

次の要件に該当する者のうち、技術提案等資料を評価した加算点に標準点を加えた技術評価点を入札価格で除した数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、その者を落札者とせず、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、評価値の最も高い者を落札者とすることがある。

- ① 入札価格が小湊鐵道株式会社の設定した予定価格の制限範囲内であること。
- ② 評価値が標準点（100点）を予定価格（税抜き）で除した数値を下回らないこと。

### **1 2. 落札者の決定**

- (1) 落札者決定後、ファクシミリにより「落札者決定通知書」を応札者全員に送付する。
- (2) 落札者は、落札後直ちに「落札者決定通知書」を印刷して、本公告記載の契約担当部署へ持参し、契約に関する指示を受けること。

### **1 3. 落札価格の決定**

落札者の入札金額に、当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とする。

なお、本入札は失格基準価格を設定する。失格基準価格は予定価格に0.85を乗じた金額とする。

### **1 4. 契約保証金**

契約金額の10分の1以上の額。ただし、金融機関の保証をもって、契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

### **1 5. 契約締結時期**

落札者は、落札後原則として5日以内（土・日・祝日を除く）に契約を締結しなければならない。

### **1 6. 契約金の支払方法**

- (1) 前払金  
なし
- (2) 中間前払金  
なし
- (3) 部分払

小湊鐵道株式会社と締結する本契約事項に従い、年度毎または本事業の予算執行状況に合わせて、出来高に応じた部分払いを行うものとする。

詳細については落札者決定後に協議した上で、本項に係る契約を締結するものとする。



## **17. 技術提案等資料の取扱い**

- (1) 技術提案等資料の作成に要する費用は、入札参加者の負担とする。
- (2) 提出された技術提案等資料は返却しないものとし、当該技術提案等資料は入札参加者の資格の審査及び評価項目の審査の目的以外に利用しないものとする。ただし、技術提案等資料を提出した者が当該目的以外の利用について承諾したときは、この限りではない。
- (3) 提出された技術提案等資料は、公表しないものとする。
- (4) 提出された技術提案等資料について、必要に応じ入札者及び配置予定技術者に対し、聴き取りを実施する場合がある。

## **18. その他**

- (1) 資格確認資料作成説明会及び現場説明会は、実施しない。
- (2) 資格確認資料のヒアリングは、実施しない。  
但し、記載内容が不明確で入札参加資格を確認できない場合には、説明を求めることがある。
- (3) 提出された資格確認資料は、返却しない。
- (4) 提出された資格確認資料を公表し、また無断で他の目的に使用することはしない。
- (5) 落札者は、「配置予定技術者及び実績等届出書」に記載した配置予定の技術者を当該工事の現場に配置しなければならない。
- (6) 入札に参加する者に必要な資格に関する事項(3)で示す監理技術者補佐とは、土木一式工事の主任技術者の資格を有する者のうち、土木一式工事における一級の技術検定の第一次検定に合格した者（一級施工管理技士補）又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者とする。なお、監理技術者が兼務できる工事は、本工事を含めて2件までとする。
- (7) 入札を公正に執行することが困難と認めるとき、その他止むを得ない事情があるときは、入札を延期し、または中止することがある。この場合において、入札参加資格を有する者は異議を申し立てることはできない。
- (8) 500万円以上の工事を落札した場合は、建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書を提出すること。
- (9) 本工事を落札した者は、市原市建設工事適正化指導要綱等に準じて工事を施工すること。  
なお、市原市建設工事ハンドブック等工事関連の情報は市原市 WEB サイトからダウンロード可能なので、適時利用すること。  
<https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=6023707eece4651c88c17e3f>
- (10) この入札に関する情報漏洩には注意すること。

## **19. 問い合わせ先**

《入札執行・契約担当部署》

小湊鐵道株式会社 総務部（契約担当）

電話 0436 (21) 3133

FAX 0436 (22) 7670

《事業担当部署》

小湊鐵道株式会社 鐵道部

電話 0436 (21) 6771・6772

FAX 0436 (22) 7650